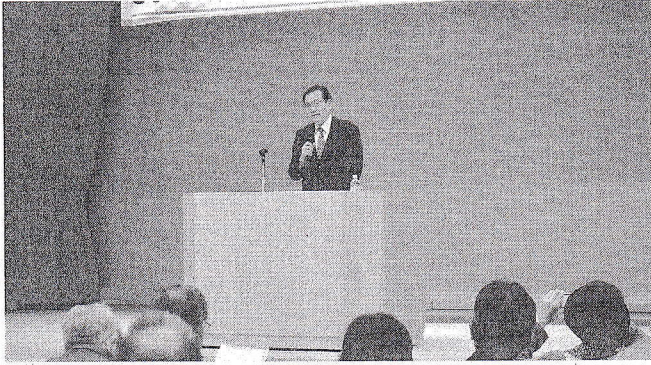


政権に改憲のすき与えない 札幌で集会



講演する五十嵐氏11日、札幌市

署名72万人超報告

安倍政権退陣、憲法9条改憲阻止、3000万人署名達成をと、北海道憲法共同センターは5日夜、学習交流集会を札幌市で開きました。現在、

安倍9条改憲 NO!
3000万人
署名

署名が72万人を超えたと報告がありました。

自由法曹団の渡辺達生

弁護士は「3000万人署名の運動を大きく広げることが改憲阻止、安倍政権を退陣に追い込む力になります」と開会あいさつ。新日本婦人の会道本部、北商連などの代表が報告しました。

全国革新懇代表世話人の五十嵐仁法政大学名誉教授が講演。「安倍政権が狙う改憲は断固として阻止しなければならぬ」と強調。「常識的に考えれば臨時国会での改憲発議は難しいが、常識

が通用しないのが安倍首相。市民と野党が徹底して安倍内閣を追及し、つけ入るすきを与えないたたかいが必要だ」と力を込めました。

「署名をやりきり参院選で与野党逆転を」と訴える五十嵐氏。道理を尽くし、本気で共闘すれば勝利できるとしたのが県知事選をはじめとした沖縄のたたかいの教訓と強調し、「改憲阻止で野党がまとまれば参院選で勝利できます。市民の側から共闘せよと各野党に『圧力』をかけることが大事で、改憲発議をさせないため、さらに署名を集め、宣伝、学習を強めましょう」と呼びかけました。